

研修会報告

2024年2月21日

文責：学術部 真山 晃史

研修会テーマ「臨地実習指導者の概要と臨地実習施設からみた現状と課題」

開催日時 2024年2月16日（金） 18：30～19：30

会場 Zoom ウェビナー

司会 小堺 利恵

生涯教育点数 基礎 20点

参加者 会員参加者 46名 入会申請中会員 名 非会員 名 賛助会員 2名 学生 名
合計 48名

講演1 「臨地実習指導者の概要と臨地実習施設からみた現状と課題」

東北大学病院 診療技術部長・臨床検査技師長 藤巻 慎一 先生

内容

今回「臨地実習指導者の概要と臨地実習施設からみた現状と課題」というテーマで臨床検査総合部門研修会を開催した。講演は東北大学病院の藤巻慎一技師長にお願いし、まずは臨地実習に関連する制度や現状、臨地実習指導者について講演していただいた。臨地実習指導者の内容の他、臨床検査技師養成校の「指定校制度」や OSCE などといった今後の動向についても詳細に学ぶことができた。また、事前に宮城県施設代表者および研修会参加者をお願いした臨地実習に関するアンケート調査結果を共有し、多数寄せられた質問に直接回答・解説をして頂いた。臨地実習に関するアンケート調査は今までほとんど実施されておらず、今回のアンケートを通して各施設で試行錯誤しながら臨地実習を受け入れ、また不安に思いつながら実施していることがわかった。本研修会を通して、臨地実習に対する不安や悩みが解消され、今後臨地実習を受け入れる施設が増えることを期待したい。

今回の研修会は事前アンケート調査など一工夫加えた内容であったが、参加者の不安や臨地実習の課題を参加者全員で共有できた非常に有意義なものであったと考える。今後も宮城県臨床検査技師会員のために楽しく学べる研修会を開催し、勉強する場を提供したい。